

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究
分担研究報告書

自己免疫性肝炎患者（AIH）全国調査・生活の質（QOL）調査

研究分担者 大平 弘正 福島県立医科大学消化器内科 主任教授

研究要旨：2009-2013年発症の自己免疫性肝炎（AIH）の全国調査では、急性発症型では慢性肝炎と違った病理組織像を示すことが明らかとなった。2014年以降の本邦におけるAIHの臨床的特徴と治療状況を明らかとし、今後のAIH診療に活用する目的でAIH全国調査を計画した。また、前年度の調査研究でAIH患者では健常人と比べ生活の質（QOL）が低下していた。QOLに影響するサルコペニアと骨粗鬆症に着目し、AIH患者におけるその実態調査を計画した。

研究協力者、共同研究者

銭谷幹男 国際医療福祉大学
吉澤要 国立病院機構 信州上田医療センター
阿部雅則 愛媛大学消化器・内分泌・代謝内科
高木章乃夫 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器、肝臓内科学
鈴木義之 虎の門病院
藤澤知雄 済生会横浜市東部病院こどもセンター小児肝臓科
鳥村拓司 久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門
姜 貞憲 手稲溪仁会病院消化器内科
中本伸宏 慶応義塾大学医学部消化器内科
小池和彦 東京慈恵会医科大学附属第三病院
田中 篤 帝京大学内科学講座
高橋敦史 福島県立医科大学消化器内科

とし、今後のAIH診療に活用すること。
（生活の質の調査）： AIH患者における骨粗鬆症、サルコペニアのそれぞれの頻度やAIHの病態や治療を含めた患者背景との関わりについて明らかとし、今後のAIH診療、QOL向上に活用することである。

B．研究方法

自己免疫性肝炎患者を対象として以下の2つの調査を実施する。

（全国調査）

全国の肝疾患専門施設への調査票（以下）の配布・回収後にデータ処理および解析を行う。

調査票の内容

性別、生年月日、身長、体重、家族歴、既往歴、生活歴、服薬・飲酒歴、AIHスコア（改訂版、簡易版）、臨床検査所見（診断時および最終観察時のトランスアミナーゼ、自己抗体、血清中免疫グロブリン値、プロトロンビン時間、肝組織病理）、発症様式、臨床徴候（肝性脳症、肝濁音界の縮小・消失）、画像検査所見（肝サイズ縮小、肝実質の不均一化）、合併症、治療薬剤（ステロイドホルモン

A．研究目的

（全国調査）：2014年以降の本邦におけるAIHの臨床的特徴と治療状況を明らか

剤、ウルソデオキシコール酸、アザチオプリン) 治療経過、肝発癌の有無、転帰

(生活の質調査)

共同研究分担施設への調査票(以下)の配布・回収後にデータ処理および解析を行う。調査票の内容

性別、生年月日、身長、体重、家族歴、既往歴、生活歴、服薬・飲酒歴、AIHスコア(改訂版、簡易版) 臨床検査所見(トランスアミナーゼ、自己抗体、血清中免疫グロブリン値、プロトロンビン時間、骨密度、肝組織病理) 発症様式、臨床徴候(肝性脳症、肝濁音界の縮小・消失) 握力、筋肉量、画像検査所見(肝サイズ縮小、肝実質の不均一化) 治療薬剤(ステロイドホルモン剤、ウルソデオキシコール酸、アザチオプリン) 治療期間、肝発癌の有無、転帰、骨粗鬆症の有無および治療内容、サルコペニアの有無、その他の合併症、生活の質(QOL) アンケート(Chronic Liver Disease Questionnaire (CLDQ))

・サルコペニアは握力測定とCTまたは体組成計で評価する。

(倫理面への配慮)

本研究については福島県立医科大学倫理委員会の承認を受けている。
全国調査(福島医大倫理委員会 整理番号 一般 29182)
生活の質の調査(福島医大倫理委員会 整理番号 一般 29187)

F. 研究発表

1. 論文発表

1) Takahashi A, Arinaga-Hino T, Ohira H, Abe K, Torimura T, Zeniya M, Abe M, Yoshizawa K, Takaki A, Suzuki Y, Kang JH, Nakamoto N, Fujisawa T, Tanaka A, Takikawa H, Japan AIH Study Group

(JAIHSG). Nonalcoholic fatty liver disease in patients with autoimmune hepatitis. JGH OPEN (in press) 2018

2) Joshita S, Yoshizawa K, Umemura T, Ohira H, Takahashi A, Harada K, Hiep NC, Tsuneyama K, Kage M, Nakano M, Kang JH, Koike K, Zeniya M, Yasunaka T, Takaki A, Torimura T, Abe M, Yokosuka O, Tanaka A, Takikawa H; Japan Autoimmune Hepatitis Study Group (JAIHSG). Clinical features of autoimmune hepatitis with acute presentation: a Japanese nationwide survey. J

Gastroenterol. [Epub ahead of print] 2018

3) Sogo T, Takahashi A, Inui A, Fujisawa T, Ohira H, Takikawa H; Japan AIH Study Group (JAIHSG). Clinical features of pediatric autoimmune hepatitis in Japan: A nationwide survey. Hepatol Res. 48(4):286-294.2018;

4) Nguyen Canh H, Harada K, Ouchi H, Sato Y, Tsuneyama K, Kage M, Nakano M, Yoshizawa K, Takahashi A, Abe M, Kang JH, Koike K, Inui A, Fujisawa T, Takaki A, Arinaga-Hino T, Torimura T, Suzuki Y, Fujiwara K, Zeniya M, Ohira H, Tanaka A, Takikawa H; Intractable Liver and Biliary Diseases Study Group of Japan. Acute presentation of autoimmune hepatitis: a multicentre study with detailed histological evaluation in a large cohort of patients. J Clin Pathol. 70(11):961-969. 2017

2. 学会発表

1) Teruko Arinaga-Hino, Atsushi Takahashi, Takuji Torimura, Hiromasa Ohira, Mikio Zeniya, Masanori Abe, Kaname Yoshizawa, Akinobu Takaki, Yoshiyuki Suzuki, Jong-Hon Kang, Nobuhiro Nakamoto, Tomoo Fujisawa,

Atsushi Tanaka, Hajime Takikawa; Japan AIH Study Group (JAIHSG). Autoimmune Hepatitis nationwide survey in Japan – subanalysis report. AASLD. Washington. 2017. October20-24

2)高橋敦史、阿部和道、大平弘正 再燃予防からみた自己免疫性肝炎治療 . 第 53 回日本肝臓学会総会 . 広島 . 2017 年 6 月 9 日

3) A. Takahashi, H. Ohira. Autoimmune hepatitis in Japan: Trends in a nationwide survey and Health Related Quality of Life in patients with autoimmune hepatitis 第 59 回 JDDW International session (Autoimmune diseases in Asia) .福岡 . 2017 年 10 月 12 日

G . 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし